

## スーパーグローバル大学創成支援事業 令和2年度中間評価結果

大 学 名	芝浦工業大学
整理番号	B14
構 想 名	価値共創型教育を特徴とする理工系人材育成モデルの構築と世界の発展への貢献

### ◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価)  <b>S</b>	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
<p>(コメント)</p> <p>本構想は、「私立理工系大学として世界に通用するブランドの構築」を目標に、世界水準の大学制度の実現、学修・教育双方の質を保証する価値共創型教育による実践型グローバル技術者の育成と、教育・研究・開発コンソーシアム（Global Technology Initiative (GTI)）の構築を目指す取組であり、理工系大学のロールモデルとして期待されるプログラムである。</p> <p>目標実現のため、東南アジアを中心とする国際的産学官連携ネットワークであるGTIコンソーシアムを構築し、それを基にしたグローバルPBLの実施や国際産学共同研究の推進など、他の理工系大学の参考となる先進的な取組が行われている。特に、GTIコンソーシアム参加企業から提案された企業連携型グローバルPBLは、企業が抱える課題をテーマとして設定し、日本人学生と海外学生が協力してその解決に取り組むという実践的なものであり、その単位認定制度も含め非常に特徴的である。その他の多くの目標設定も意欲的であり、その成果は海外派遣学生数や受け入れ留学生数、外国人教員等の割合、海外論文数の顕著な増加等に現れており、高く評価出来る。また、工科系大学であるが、女性教員の比率が高い点や女子学生の割合を増やす女子指定校の導入など、多様性の確保にも熱心である。さらに、令和2年度からは英語のみで実施する多国籍の教員が指導する学部の先進国際課程も運用されており、先進的取組として高く評価できる。これらの実現は、SGU推進本部を中心とした学長付託型のガバナンスが優れている証左である。</p> <p>一方で、日本人学生に占める留学経験者数や外国語力の基準を満たす学生数は、特に大学院において必ずしも十分とは言えない。また、学部における外国語のみで卒業できるコースの在籍者数など、数値目標を下回る項目も認められる。今後、ジョイントディグリー（JD）やダブルディグリー（DD）協定校数の増加や大学院進学率等の大学独自の意欲的な数値目標を達成するためには、更なる具体策の検討が望まれる。私立工科系大学唯一の採択大学として、世界に通じるロールモデルの策定とその波及への努力を期待したい。</p> <p>財政支援期間終了後を見据えた自走化については、産学連携等により、取組の成果を更に発展させることが望まれる。</p>	